

# 福岡県信用保証協会

## I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

- 1 所在地 福岡県福岡市博多区博多駅南二丁目2番1号
- 2 設立年月日 昭和24年3月29日
- 3 代表者 会長 山崎 建典
- 4 基本財産 68,943,406千円
- 5 北九州市の出捐金 437,070千円（出捐の割合 0.63%）
- 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	23人	0人	0人	23人
常 勤	6人	0人	0人	6人
非常勤	17人	0人	0人	17人
職 員	184人	0人	0人	184人

## II 令和3年度事業実績

令和3年度の県内の景気動向は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、生産や消費では持ち直しの動きが見られていましたが、年明け以降は、新型コロナウイルス感染症の再拡大やロシアによるウクライナ侵攻、原材料価格の上昇など経済情勢は大きく変化し、景気の下振れが懸念される状況となりました。

県内の中小企業においても、緊急事態宣言やまん延防止重点措置の適用による行動制限の影響等のため、厳しい状況が続いていましたが、その後は持ち直しの動きが見られ、県内企業の倒産状況（負債総額1千万円以上）も低水準で推移しました。

しかしながら、当協会を利用する中小企業・小規模零細企業においては、過剰債務を抱えた企業や業績回復が遅れている企業も多く、依然として厳しい状況が続きました。

保証部門では、新型コロナウイルス感染症対応資金（ゼロゼロ制度）が令和3年5月末に終了した後、保証申込は減少し、保証承諾金額は2,655億円（前年比17.1%）と大きく減少しました。また保証債務残高は、令和3年5月6日の1兆7,494億円をピークに、以後は緩やかな減少傾向となり、令和3年度末では1兆6,719億円（前年比98.3%）となりました。保証利用企業者数は、新規先等からの保証申込が続いたことにより、76,774者（前年比102.9%）と増加しました。

回収部門については、有担保求償権の減少や新型コロナウイルス感染症による行動制限など厳しい環境が続いていますが、代位弁済後の初動の徹底や定期入金先の管理等の基本行動に努めるとともに、回収の効率化を推進することにより、求償権実際回収額は計画を上回る30億円（前年比87.4%）となりました。

以上の結果、令和3年度の決算における収支差額は68億54百万円となりました。

【保証承諾・代位弁済等の状況】

区 分	項 目	令和 3 年度	前年比
保 証 承 諾	件 数	21,200 件	23.4%
	金 額	265,466 百万円	17.1%
期末保証債務残高	件 数	135,510 件	101.0%
	金 額	1,671,941 百万円	98.3%
代 位 弁 済	件 数	874 件	98.5%
	金 額	10,356 百万円	138.9%

【求償権回収等の状況】

区 分	項 目	令和 3 年度	前年比
求 償 権	完済件数	56 件	84.8%
	回収額	627 百万円	96.2%
	償却件数	1,074 件	99.6%
	償却額	8,605 百万円	93.5%
期 末 求 償 権	件 数	1,117 件	81.4%
	金 額	3,888 百万円	140.6%

### Ⅲ 令和3年度決算

#### 1 貸借対照表

令和4年3月31日現在（単位：円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	801,924	基本財産	68,943,405,814
現金	801,924	基金	11,053,269,425
小切手	0	基金準備金	57,890,136,389
預け金	58,005,150,544	制度改革促進基金	0
当座預金	220,256,548	収支差額変動準備金	34,432,962,455
普通預金	14,672,454,528	責任準備金	10,053,195,804
通知預金	0	求償権償却準備金	1,272,670,706
定期預金	43,100,000,000	退職給与引当金	1,397,117,539
郵便貯金	12,439,468	損失補償金	41,838,055,625
金銭信託	0	保証債務	1,671,941,487,078
有価証券	100,709,500,000	求償権補てん金	0
国債	0	保険金	0
地方債	37,995,600,000	損失補償補てん金	0
社債	62,700,000,000	借入金	0
株式	13,900,000	長期借入金	0
受益証券	0	（うち日本政策金融公庫分）	0
その他有価証券	0	短期借入金	0
新株予約権	0	（うち日本政策金融公庫分）	0
ファンド出資	0	収支差額変動準備金造成資金	0
動産・不動産	2,465,363,439		
事業用不動産	2,364,183,340	雑勘定	52,117,180,425
事業用動産	101,180,099	仮受金	11,940,042
所有動産・不動産	0	保険納付金	206,630,403
損失補償金見返	41,838,055,625	損失補償納付金	160,171,587
保証債務見返	1,671,941,487,078	未経過保証料	51,711,541,845
求償権	3,887,643,349	未払保険料	2,992,956
譲受債権	0	未払費用	23,903,592
雑勘定	3,148,073,487		
仮払金	10,293,729		
保証金	0		
厚生基金	28,138,500		
連合会勘定	199,108		
未収利息	99,774,531		
未経過保険料	3,009,667,619		
合 計	1,881,996,075,446	合 計	1,881,996,075,446

## 2 収支計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
経常収入	18,270,164,803
保証料	14,051,314,285
預け金利息	10,703,074
有価証券利息配当金	453,300,343
調査料	0
延滞保証料	0
損害金	77,531,664
事務補助金	2,246,614,171
責任共有負担金	1,386,906,000
雑収入	43,795,266
経常支出	10,607,441,780
業務費	2,915,255,965
役職員給与	1,494,278,806
退職給与引当金繰入	92,068,606
その他人件費	303,017,179
旅費	7,748,126
事務費	741,114,992
賃借料	61,281,887
動産・不動産償却	70,726,992
信用調査費	13,967,983
債権管理費	77,940,890
指導普及費	25,586,004
負担金	27,524,500
借入金利息	0
信用保険料	7,263,787,905
責任共有負担金納付金	428,397,910
雑支出	0
経常収支差額	7,662,723,023

経常外収入	19,229,953,237
償却求償権回収金	269,279,734
責任準備金戻入	10,237,205,591
求償権償却準備金戻入	1,100,339,696
求償権補てん金戻入	7,614,275,009
保険金	6,941,096,086
損失補償補てん金	673,178,923
補助金	0
その他収入	8,853,207
経常外支出	20,038,859,100
求償権償却	8,605,457,940
譲受債権償却	0
有価証券償却	0
雑勘定償却	7,184,742
退職金	514,008
責任準備金繰入	10,053,195,804
求償権償却準備金繰入	1,272,670,706
その他支出	99,835,900
経常外収支差額	△808,905,863
制度改革促進基金取崩額	0
収支差額変動準備金取崩額	0
当期収支差額	6,853,817,160
当期収支差額変動準備金繰入額	3,200,000,000
基本財産繰入額又は基本財産取崩額	3,653,817,160

#### IV 令和4年度事業計画

令和3年度から令和5年度までの3年間をポストコロナに向けた重点取り組みの期間と位置づけ、依然として厳しい状況が続く中小企業者に対する迅速かつ適切な資金繰り支援や、経営状況が悪化した中小企業者に対する金融機関及び支援機関等と連携した経営支援に取り組む。

またコロナ禍において、社会全体の行動様式の変化や金融機関業務の電子化など協会を取り巻く環境は大きく変化し、国や自治体、金融機関をはじめとして各方面でデジタル化による手続きの見直しが進められており、保証協会としてもデジタル技術を活用した業務効率化を進めていくこととし、中小企業者への速やかな融資実行や非対面かつ迅速な手続きを行うための保証業務の電子化や、中小企業者と金融機関の利便性向上のための押印レス化などに積極的に取り組む。

さらに中小企業のベストパートナーとして「信用保証」によりその経営の安定と繁栄を支援し、地域経済の発展に貢献するとともに、中小企業・小規模事業者の金融の円滑化、経営支援等に資するため、業務に取り組んでいく。

(単位：百万円、%)

	金額	対前年度計画比	対前年度実績見込比	積算の根拠（考え方）
保証承諾	220,000	40.0	82.1	<p>【保証承諾】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症対応資金を中心に、県内中小企業者への金融支援が一定程度行き渡っており、県内中小企業者の資金需要等を勘案し、計画額は2,200億円とした。</li> </ul> <p>【保証債務残高】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2～3年度にかけ、保証債務残高は、急激な伸びを見せたが、新型コロナウイルス感染症対応資金の償還等により減少傾向を辿るものと見込む。</li> </ul> <p>【代位弁済】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた息切れ倒産等の増加が想定されることから、代位弁済は増加傾向を辿るものと見込む。</li> </ul> <p>【実際回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代位弁済の増加を見込むものの、無担保、保証人、経営者保証を要しない保証の割合が増加し、厳しい回収環境が続くことから、計画額は28億円とした。</li> </ul>
保証債務残高	1,530,000	100.0	91.5	
代位弁済	20,000	100.0	190.5	
実際回収	2,800	100.0	96.6	

## V 役員名簿

令和4年6月10日現在

役職名	氏名	備考
会長	山崎建典	常勤
副会長	谷川浩道	福岡県商工会議所連合会 会長
専務理事	山崎巖	常勤
常務理事	岩永龍治	常勤
〃	日山尚之	常勤
理事	鹿嶋一彦	常勤
〃	初田寿	福岡県 商工部長
〃	渡邊美穂	福岡県議会議員（県民生活商工委員会委員長）
〃	高島宗一郎	福岡市長
〃	北橋健治	北九州市長
〃	原口新五	久留米市長
〃	花田稔之	福岡県商工会連合会 会長
〃	桑野龍一	福岡県中小企業団体中央会 会長
〃	五島久	福岡銀行 頭取
〃	村上英之	西日本シティ銀行 頭取
〃	佐藤清一郎	筑邦銀行 頭取
〃	嘉藤晃玉	北九州銀行 頭取
〃	古村至朗	福岡中央銀行 頭取
〃	三浦玲	商工組合中央金庫 福岡支店長
〃	野村廣美	福岡県信用金庫協会 会長
監事	上野順治	常勤
〃	豊永明壽	西部ガスホールディングス株式会社 顧問
〃	行正晴實	行正晴實公認会計士事務所長

順不同敬称略